千歳市子育てママ応援会議 最終報告

市は、子育て中のママやパパなどの思いや意見を施策に反映させるため、平成29年10月に《子育てママ応援会議》を発足させました。発足から2年が経過し、これまでに検討・実施された施策をまとめた最終報告に焦点をあてます。

みんなで子育て応援宣言しました

● みんなで子育て応援宣言

- ★もっと子育てを楽しみながら、みんなで育てます。
- ★子育ての悩みを一人で抱え孤立化しないように地域で応援します。
- ★気兼ねなく男性・女性が産休・育休を取れる職場の環境づくりを推進します。
- ★お父さんとお母さんの笑顔で子どもを笑顔にします。
- ★ひとりひとりが子育て全力サポーターとなり、子どもを見守ります。
- ★親子が幸せを実感でき、安心して充実した生活ができる、笑顔あふれる千歳市にします。

子育て当事者ならではの意見

本会議では、「子育てするなら、千歳市」のキャッチフレーズのもと、千歳が子育てにやさしい街であるように、《みんなで子育て応援宣言》を採択しました。

これまでの会議の中で子育ての当事者ならではの声や具体的な意見が多く発言されました。検討した内容で可能なものはすみやかに実行するとともに、今後の事業化に向けた検討や、令和2年度からの《第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画》への施策に反映していきます。

ここでは会議で出された意見に対し、市がすみやかに実施した施策の一部を紹介します。

1 男性の育児参画

VOICE 企業の中でワーク・ライフ・バランスや子育て講座ができたら男性も参加しやすい

← **START** 父親の子育てセミナーや企業向けイクボスセミナーを開始

2 SNSで子育て情報発信《ママからnet.》を開始

VOICE スマートフォンで子育てに関する情報が得られると良い

← **START** 子育てガイドの電子書籍化やSNSで子育て情報を発信する「ママからnet.」を開始

3 市窓口で保育士就職相談（ちーマインダー）を開設

VOICE 保育士の確保に関して、ハローワークに行く前に気軽に相談できる場があると良い

← **START** 市役所窓口でハローワーク求人を閲覧できる保育士就職相談窓口（ちーマインダー）を開設

子育てするなら、千歳市

会議の議題項目

回	開催日	議題
第1回	H29.10.30	《会議発足》子育て支援の状況
第2回	H29.11.29	①切れ目のない支援 ②男性の育児参画
第3回	H30.1.30	①乳幼児期の保育 ②保育士確保の取組
第4回	H30.3.28	①子どもの居場所づくり ②地域や企業に望むこと
第5回	H30.7.12	中間報告（案）
第6回	H30.8.28	①中間報告 ②アンケート調査
第7回	H30.9.12	《中間報告》
第8回	H30.11.7	①中間報告の結果 ②今後の会議テーマ
第9回	H30.11.15	子ども・子育て支援アンケート調査の意見聴取
第10回	H31.1.28	保育士確保の取組
第11回	H31.2.28	幼児教育・保育の無償化
第12回	R1.5.20	①子ども・子育て支援アンケート調査結果 ②子育て支援の情報発信 ③子育てと仕事の両立
第13回	R1.7.24	第13回から第18回まで ●第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画の素案や愛称などの検討 ●市長への最終報告、みんなで子育て応援宣言の内容 ●保育士就職相談窓口の名称など
第14回	R1.8.1	
第15回	R1.8.28	
第16回	R1.9.20	
第17回	R1.10.25	
第18回	R1.11.8	
第19回	R1.11.12	《最終報告》

最終報告会と同日開催

こどもが幸せになるために
～子育てにやさしい風土づくり～

オランダが『世界一子どもが幸せな国』になったわけ

講師 **秋山 開**さん（あきやま かい さん）

■公益財団法人１more Baby 応援団 専務理事／1more Baby 応援団とは、理想の数だけ子どもを産み育てやすい社会環境の実現をめざし、結婚・妊娠・出産・子育て支援に関する調査・シンポジウムなどを行っている団体。

オランダは現在、「世界一子どもが幸せな国」と言われています。官民一体となった働き方改革を行い、女性の就業率は70%に達しました。子どもを持つオランダの方に調査した「２人目の壁」への意識調査では、「２人目の壁」が「存在すると思う」と答えた方は26%、日本の74.5%とは全く逆の結果になりました。オランダは少子化対策として何かをやったことは一度もないそうです。いま生きている人たち、いま生活している人たちがいかに幸せになるかを考えた結果、オランダの社会はみんなが「18時に帰れる社会」になり、出生率があがったそうです。これからの日本も個人の価値観や事情に合わせた選択が自由にでき、それを実現できる社会であるかが重要な要素になると考えています。ライフステージに応じて誰もが働き方を選択できる制度、ルールも重要ですが、信頼関係をベースに日々の事情に応じてフレキシブルに対応できる仕組み、そして家族ファーストという共通認識を持つことが大切になります。もっとシンプルに「誰もが18時に帰れる社会を作る」、それだけを考えて社会全体で行動するのがいいのではと、私は思います。

第２期千歳市子ども・子育て支援事業計画に対しての提案

子育てママ応援会議では、市で実施している主な施策や40項目の事業評価が行われました。また、《第２期千歳市子ども・子育て支援事業計画》や新しい施策などに対し、提案がありました。第２期の計画については、今後、《千歳市子ども・子育て会議》や《パブリックコメント》、《庁内協議》を経て、来年３月に策定する予定です。ここでは、提案された内容の一部を紹介します。

1

●こども食堂応援事業の開始
こども食堂の実施場所や、スタッフ、寄付の仲介支援をすることや、PR、情報提供、相談、助言などを実施。

2

●ちとせ子育て特典カード事業の利用対象範囲を拡大
特典カードの利用対象範囲を中学校修了までの子どものいる世帯から18歳になる子どものいる世帯に拡大。

3

●保育定員のさらなる拡大
女性就業や幼児教育・保育の無償化にともなう保育ニーズの増加を踏まえた適切な保育定員の拡大。

4

※インクルージョン保育とは「障がいの有無に関わらず、わけへだてなく一緒に保育すること

●障がい児のためのインクルージョン保育の拡充
障がい児相談支援、児童発達支援、保育所訪問支援、居宅訪問型児童発達支援事業を一括して行う《児童発達支援センター》の設置をめざす。

11月12日に北ガス文化ホールで行われた教育・保育施設向け研修会の中で山口市長に最終報告書が手渡されました。山口市長は、「意見や提言を受け止め、今後も、《子育てするなら、千歳市》の施策に取り組んでいきたい」と話していました。

◇　◇　◇　◇　◇　◇

子どもに関わるすべての人が、自分なりの《子育て応援宣言》をすることで、「子育てするなら、千歳市」が風土として根付いていくのではないでしょうか。

【詳細】
こども政策課
こども政策係
☎（24）0341
FAX（23）6700